

JILPT 資料シリーズ

No. 113 2013 年 3 月

留学生の就職活動

—現状と課題—



独立行政法人 労働政策研究・研修機構
The Japan Institute for Labour Policy and Training

留学生の就職活動

—現状と課題—

独立行政法人 労働政策研究・研修機構

The Japan Institute for Labour Policy and Training

まえがき

グローバル経済が日々ますます展開していく中で、カネやモノはかつてないほどのスピードで移動し続けている。その中で、ヒトはそれほど容易く国の境を越えて移動することはできないものの、以前と比べれば、移動量もスピードも増加の一途を辿っている。その中でも、世界中どこでも通用し、有用と認められる高度人材をいかに獲得し、定着を図るのかは、すべての国や社会同様、わが国のもっとも重要な課題の一つとなっている。

2008年より、国を挙げて取り組みの始まった「留学生30万人計画」は、優れた高度人材の卵としての留学生に注目し、世界各国から、現在の約2倍となる留学生を受け入れようとする壮大な計画である。そこでは単に、大学生としての4年ほどをわが国で過ごしてもらうことだけでなく、さらに大学院へと進学することや、わが国企業に就職して働いてもらうことまでが意図されている。そのためには、現在、留学生たちがわが国企業へ就職しようとした際、全体のどの程度が就職を希望し、希望した場合にどういった点が問題となっているのかをきちんと調べる必要がある。それらの状況を明確にした上で、今後の実施可能な対策を検討することが可能となろう。本調査を企画した意図はそこにある。

本報告では、限定された範囲内ではあるが、実際に留学生を採用した企業の人事担当者に聞き取りを行い、受け入れ側としての企業は元留学生たちをどのように見ているのかをとりまとめた。採用の第一線にたつ担当者たちが、どういった点を積極的に評価し、あるいは問題として捉えているのかを掘り起こす作業は、常に必要である。また同時に、留学生たちを企業、社会へと送り出す大学側からも聞き取りを行い、留学生の就職に対する現時点での考えをとりまとめた。就職という点から留学生の存在に急速に関心が高まったのは、実は相当最近のことである。そのサポートをしながら、どういった点が問題と映っているのか、企業に対してどのような要望を持っているのかなど、現場の声を収集することもまた不可欠である。これまでに明らかとなった諸点に加えて、今後を検討するための糸口を再考するための準備作業でもある。

本報告が、留学生の就職について関心のある企業、労働組合、関係機関の方々、研究者等に役立つとともに、わが国への高度人材の受入がさらに進展することに多少なりとも参考になれば幸いである。

2013年3月

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
理事長 山口 浩一郎

執筆担当者（五十音順）

氏名	所属	担当
<small>なかむら</small> 中村 <small>りょうじ</small> 良二	(独) 労働政策研究・研修機構主任研究員	序、第2章 付 A、C 社 G、H、K、M 大学
<small>わたなべ</small> 渡邊 <small>ひろあき</small> 博顕	(独) 労働政策研究・研修機構副統括研究員	第1章 付 B 社、 I、J、L 大学

留学生の就職活動－現状と課題－

目 次

まえがき

序 調査の背景とねらい	1
第1章 統計的事実の観察と先行調査研究の展望	3
1 はじめに	3
2 統計的事実の確認	3
(1) 外国人留学生数の動向	3
(2) 外国人留学生の卒業後の進路希望	5
(3) 外国人留学生の就職支援の希望	7
(4) 外国人留学生の日本企業への就職動向	8
3 先行の調査研究の展望	15
4 小括	20
第2章 ヒアリング調査結果	23
1 はじめに	23
(1) 調査の目的	23
(2) 聞き取りの構図と調査項目	24
(3) 分類に関する基本的な考え方	24
2 企業調査結果概要	26
(1) 採用の経緯と実績、採用を含む今後の見込み	26
(2) 採用基準・戦略	27
(3) 担当職務、キャリア・育成	28
(4) 離職状況	29
(5) 仕事ぶりへの評価	30
(6) 留学生の特徴、応募で気づいた点	31
(7) インターンシップ	32
(8) 現状の問題点・今後の課題	33
(9) その他の課題	33
(10) 小括	34
3 大学調査結果概要	36
(1) 卒業後の進路	36

(2) 留学生が重要視する点、戸惑う点	37
(3) 企業からの採用希望状況	37
(4) 現在の支援内容	39
(5) 学生からの声	41
(6) インターンシップ	42
(7) 企業への要望	43
(8) その他の課題	44
(9) 小括	45
4 むすびにかえて	46
付 ヒアリングノート	47
〔企業調査〕	
A 社	48
B 社	50
C 社	52
〔大学調査〕	
G 大学	54
H 大学	56
I 大学	58
J 大学	60
K 大学	62
L 大学	64
M 大学	66
調査結果一覧表	69